

安全報告書

須磨浦遊園 普通索道及び特殊索道



2009年8月

山陽電気鉄道株式会社

安全報告書 目次

1. 「安全報告書」の公表にあたって	1
2. 基本方針と安全目標	2
2. 1. 基本方針		
2. 2. 安全目標		
3. 事故等の発生状況とその再発防止措置	3
3. 1. 索道運転事故		
3. 2. 災害		
3. 3. インシデント		
3. 4. 行政指導等		
4. 輸送の安全確保のための取り組み	4
4. 1. 安全教育		
4. 2. 緊急時対応訓練		
4. 3. 安全のための投資と支出		
5. 当社の安全管理体制	5
6. 利用者の皆さまとの連携とお願い	6
7. ご連絡先	6

1. 「安全報告書」の公表にあたって

お客さま、地域の皆さまへ

当社の索道事業に対して、ご利用とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では2006年10月に「安全管理規程」を制定し、輸送の安全水準の維持および向上を目指しています。

この規程の基本的な方針として、社長以下社員全員が一致協力して事故防止に努め、常にお客さまの安全を第一に考えて最善を尽くすこと、規程を遵守し忠実かつ正確に職務を遂行すること、常に問題意識を持ってチェックを行い、継続的に必要な見直し・改善を行うこととしています。

これまで、お客さま、地域の皆さまに永年支えられ、築いてきた信頼を決して裏切ることなく、社員一丸となって、信頼の根幹であります「安全の確保」のための取り組みについて、これからも積極的に進めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社の安全の実態について皆さまにご理解いただくとともに、皆さまからの声を広くお伺いして、今後の安全輸送に役立てるために作成したものであります。ぜひ、ご一読いただきますようお願いいたします。

山陽電気鉄道株式会社
取締役社長 上門 一裕



2. 基本方針と安全目標

2. 1. 基本方針

当社は、安全管理規程の中で「安全方針」を次のように掲げ、役員及び従業員に周知・徹底しております。

- ・一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ・輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ・常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ・職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ・事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。

2. 2. 安全目標

当社の索道安全輸送目標(2006～2010年)は次表のとおりです。

区 分	項 目	内 容
定量的な 目 標	設備不具合による事故	発生件数ゼロを目指す。
	人身障害事故	



・安全パトロールの実施



・(特殊索道)受索輪保守作業

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

3. 1. 索道運転事故(索道人身障害事故)

2008 年度、索道運転事故はございません。

	2006 年度	2007 年度	2008 年度
索道運転事故	0	0	0

3. 2. 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2008 年度、災害による運行休止はございません。

なお、強風による運行休止はつぎのとおりです。

	運休延日数	運休延時間
普通索道(ロープウェイ)	3 日	10 時間 30 分
特殊索道(リフト)	10 日	29 時間 30 分

3. 3. インシデント(事故の兆候)

2008 年度、国土交通省へのインシデント報告はございません。

	2006 年度	2007 年度	2008 年度
インシデント	0	0	0

3. 4. 行政指導等

2008 年度、行政指導等は受けておりません。

	2006 年度	2007 年度	2008 年度
行政指導等	なし	なし	なし

4. 輸送の安全確保のための取り組み

4. 1. 安全教育

毎週1回、始業前にミーティングを行い、その中で管理職から係員に対して、その時々に応じた安全啓発に関する諸注意・各種指示を行っています。

また、輸送の安全確保の維持・向上のために、安全に関する教育を全係員対象に毎年実施しています。

安全運転推進運動(7月)および交通事故防止運動(12月)時に、安全確保の重要性および同運動の趣旨について管理職から全係員に対して周知しています。

4. 2. 緊急時対応訓練

毎年、1年定期検査時と安全運転推進運動期間中に救助訓練を実施しています。



(2008 年度実績)

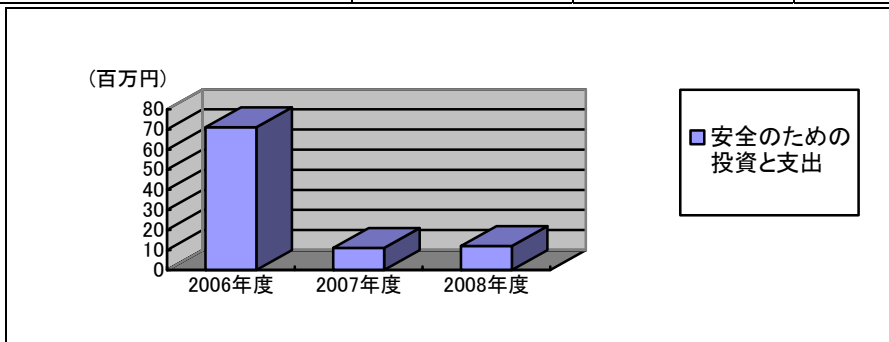
第1回(2008年7月15日実施) 参加者28人、第2回(2008年12月12日実施) 参加者22人、
第3回(2009年3月3日実施) 参加者24人

4. 3. 安全のための投資と支出

昨年度は、安全関連への投資と施設の修繕費の総額が約12百万円になりました。

・ 主なもの…(普通索道)平衡索更新工事

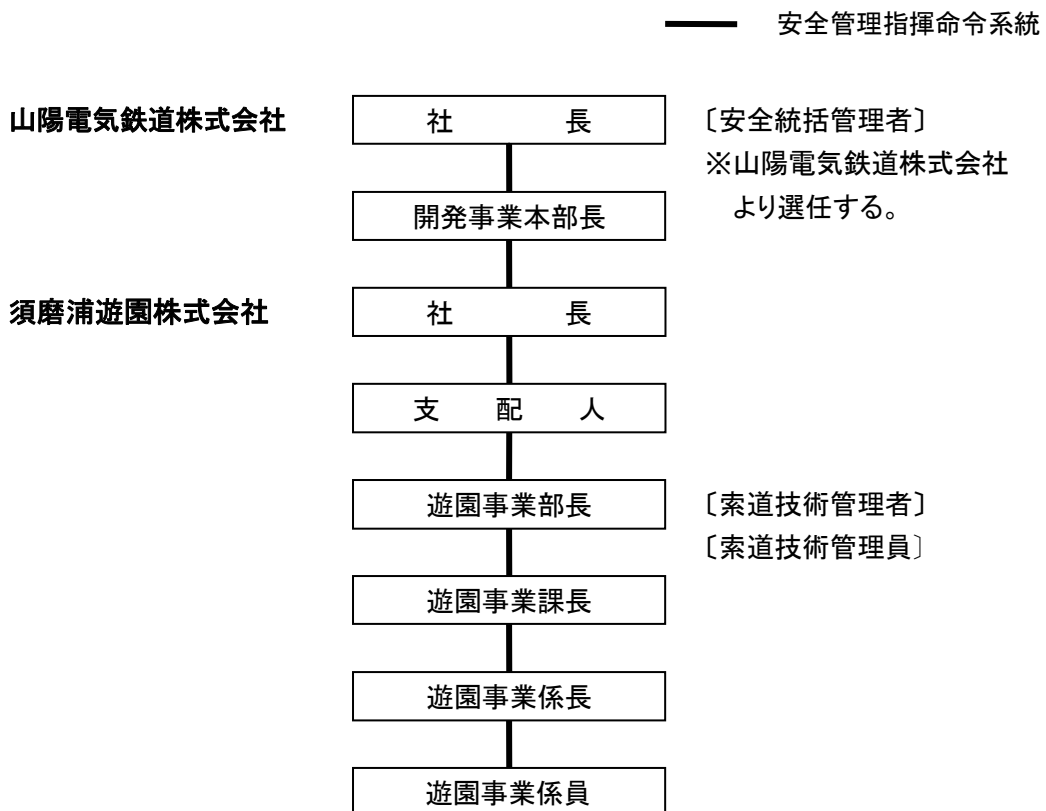
	2006年度	2007年度	2008年度
安全のための投資と支出	71百万円	11百万円	12百万円
主なもの(いずれも普通索道)	搬器更新工事	曳索更新工事	平衡索更新工事



5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責任を明確にしています。また、山陽電気鉄道(株)と須磨浦遊園(株)合同による安全推進連絡会議を毎月開催し、日々の業務に反映させております。

【安全管理体制図】



注)実際の運行業務については、山陽電気鉄道株式会社から須磨浦遊園株式会社へ業務委託を行っております。

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

6. 利用者の皆さまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声」

山陽電気鉄道㈱と須磨浦遊園㈱では、お客さまの期待に応えられるよう、日々サービスの向上に努めています。お客さまからお寄せいただいたご意見は、より信頼される索道事業運営を図るために役立てたいと考えています。

(2)ロープウェイ・リフトご利用時の注意事項

ロープウェイ

- ① 危険物の持ち込みは禁止されています。
- ② ご利用時は係員の指示に従ってください。
- ③ 飲酒酩酊等、公の秩序または善良の風俗に反するような行為があり、他のお客さまに迷惑を及ぼすおそれのあるときは、ご利用をお断りすることがあります。

リフト

- ① 乗り方に慣れないお客さまは、係員にその旨をお申し出てください。
- ② リフトご利用時には、空缶その他の物品を投げたり捨てたりしないでください。
- ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないでください。
- ④ 衣服・携帯品・毛髪などが、施設に巻き付かないよう注意してください。
- ⑤ ご利用時は係員の指示に従ってください。

7. ご連絡先

本安全報告書へのご感想・当社索道事業の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒 653-0843

神戸市長田区御屋敷通3丁目1番1号

山陽電気鉄道株式会社 総務本部

TEL:078-612-2032 (8:45~17:30 但し土日祝日除く)

〒 654-0076

神戸市須磨区一ノ谷町5丁目3-2

須磨浦遊園株式会社 遊園事業部 お客さま係

TEL:078-731-2520 (10:00~17:00 但し休園日除く)